

## 令和4年度積算線量測定結果

調査地点: 佐世保港

ポイント 番号	測定結果(μ Gy / 91 日)			
	第1・四半期 (4月19日~7月19日)	第2・四半期 (7月19日~10月14日)	第3・四半期 (10月14日~1月13日)	第4・四半期 (月日~月日)
1	131 ± 0.6 <sup>*1</sup>	131 ± 2.0 <sup>*4</sup>	129 ± 0.0	±
2	134 ± 0.6	134 ± 1.2	133 ± 1.0	±
3	113 ± 1.2	113 ± 1.2	109 ± 1.1 <sup>*8</sup>	±
4	153 ± 1.2	155 ± 2.1	151 ± 2.1 <sup>*8</sup>	±
5	155 ± 0.6 <sup>*2</sup>	157 ± 1.1 <sup>*5</sup>	155 ± 1.1 <sup>*9</sup>	±
6	122 ± 0.6	123 ± 1.7 <sup>*5</sup>	120 ± 1.0 <sup>*9</sup>	±
7	115 ± 1.0 <sup>*2</sup>	117 ± 2.5 <sup>*5</sup>	113 ± 1.5 <sup>*9</sup>	±
8	134 ± 0.6 <sup>*3</sup>	136 ± 1.6 <sup>*6</sup>	132 ± 0.0 <sup>*10</sup>	±
9	122 ± 1.0	120 ± 0.6 <sup>*6</sup>	120 ± 1.5 <sup>*10</sup>	±
10	109 ± 1.0 <sup>*2</sup>	107 ± 0.6 <sup>*7</sup>	107 ± 1.1	±
比較対照	46 ± 0.4 (4月12日~7月26日)	46 ± 0.8 (7月12日~10月20日)	46 ± 0.0 (10月6日~1月19日)	± (月日~月日)

\* 1: 線量計回収時に収納箱の破損を確認した(7月29日に修繕完了)。測定結果は通常と同程度であったが、収納箱の破損状況を考慮して、参考値として扱う。

\* 2: 設置期間は4月19日~7月20日である。

\* 7: 設置期間は7月20日~10月14日である。

\* 3: 設置期間は4月18日~7月19日である。

\* 8: 設置期間は10月14日~1月12日である。

\* 4: 設置期間は8月4日~10月14日である。

\* 9: 設置期間は10月13日~1月12日である。

\* 5: 設置期間は7月20日~10月13日である。

\* 10: 設置期間は10月13日~1月13日である。

\* 6: 設置期間は7月19日~10月13日である。

注) 1ポイント当り蛍光ガラス線量計3個を四半期毎(約3ヶ月間)収納箱に設置し、積算線量を測定した。測定結果は各ポイントにおける測定値の平均値とし、誤差は標準偏差を示した。

比較対照は宇宙線及びセルフドーズの寄与分を見積もるために蛍光ガラス線量計6個を日本分析センターの鉛容器内に保管し、同様に積算線量を測定した。なお、各ポイントの測定結果から比較対照の測定結果を減じることはしていない。